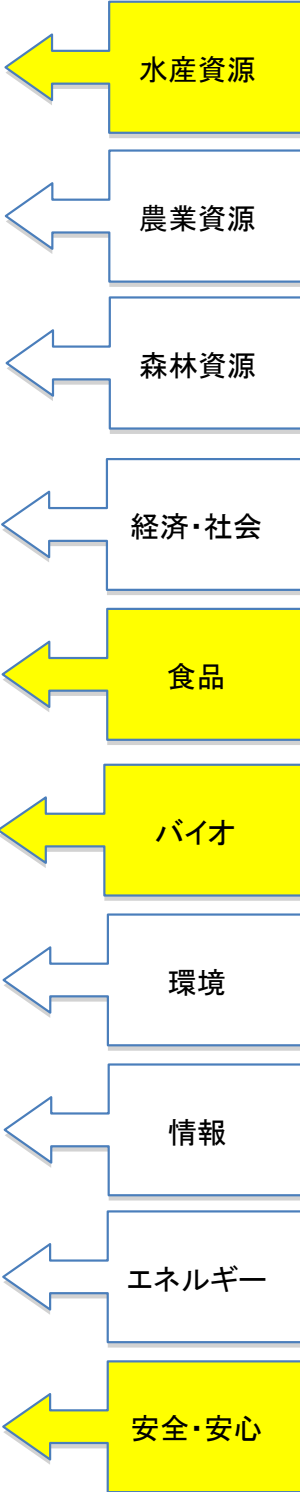


魚類寄生虫病の治療法の開発

三重大学大学院生物資源学研究科・一色 正



概要

- 魚類寄生虫病に対しては、実用化されたワクチンはありません。
- 駆虫薬も限られた魚種の特定の寄生虫についてしか使用することができません。
- 本研究では、重要な増養殖対象魚種の寄生虫病に有効な治療法を開発します。

キーワード

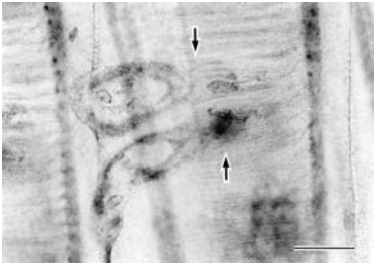
魚類, 養殖, 魚病, 駆虫薬, 感染症, 寄生虫, 微生物, 水産用医薬品

研究内容／実施例

ヒラメおよびキジハタにそれぞれ発生して問題となっている2つの単生類寄生虫病 (*Neoheterobothrium hirame*および*Pseudorhabdosynochus epinepheli*感染症) の有効な治療法を開発しました。

①ヒラメの*Neoheterobothrium hirame*感染症に対しては、8%食塩添加海水浴が駆虫および病状の回復に有効でした。駆虫に使用した食塩は日常的に食用に使用されているものであることから、実用化できる方法です。

②キジハタの*Pseudorhabdosynochus epinepheli*感染症に対しては、700ppm過酸化水素浴が駆虫および病状の回復に有効でした。過酸化水素は既に水産用医薬品として承認されているものであることから、実用化できる見込みが高い方法です。



単生類*Pseudorhabdosynochus epinepheli*が寄生したキジハタの鰓の顕微鏡写真